

俳句

朝ぼらけ北窓開く浜の宿

綿引 英子

男の子ばかり育てて桃の花

中野 千賀子

枯野焼く炎の影もゆらめけり

飯田 勇一

針箱の二段の嬉し桃の花

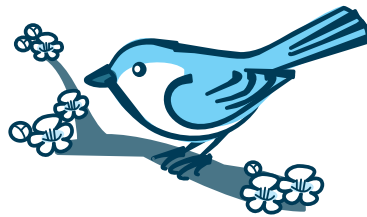
竹内 幸子

ひもすがら岸边にうつる猫柳

田口 勝元

子は巢立夫は旅立つまらない

矢次 キヨ



川柳

今年また夫婦二人の花見酒

富田 多蔵

春が来た今年もダメか桜見る会

車田 綾子

プロ野球やっとオーブン活気つき

川原 清

青春やウグイスの声高らかに

飯村 孝一

文芸しろさと

短歌

田園に赤い教会生れてより

山下りんの聖像画秘蔵さるる

大森 久子

千鳥の曲母と並びて弾きし

所の 美恵子

それぞれに病を持つも穏やかな

明け暮れに老いなるの幸あり

渡辺 千紗子

学びつつ作るしろさと短歌な

り見てくるる皆の幸を祈りぬ

山形 式妙

虫眼鏡使用し日向に新聞を

読めば焦げ付く煙に驚く

新築の自室にはまだ住み慣れ

ずポーツと壁のテレビ見ており

杉山 みちこ

真夜近く激しき揺れに飛び

起きぬ十年前の恐怖甦る

富田 佐智子

吹き荒ぶ二月の風はコロナ

渦の人の心も渴かず如し

萩谷 登喜子

ガラス越し兄のお見舞笑顔

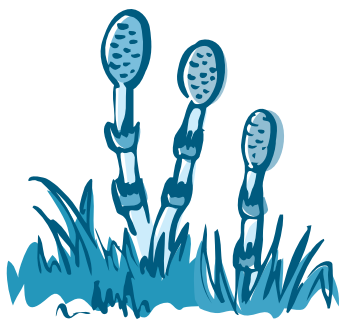
見て時たたずして言葉少なく

富田 欽子

春疾風誹謗中傷擬には切磋

琢磨の影と罰かな

矢次 洋平



しろさとまち通信

—城里町地域おこし協力隊— Vol.60

城里町地域おこし協力隊の連載、4月号は染矢喜夫が担当します！



▲圃場の整備をしている様子

こんにちは。農業分野で活動している染矢です。早いもので、3年の任期もあとわずかになりました。全くの未経験からのスタートで、道具の名前や、機械の使い方もわかりませんでした。1年目は、農業の当たり前を学びながら、毎日の作業をこなすだけで精一杯だったのを思い出します。作物の様子を見ながら圃場を整え、肥料散布や水やり、防除など、スケジュールの管理が一番大切で難しいことだと分かりました。研修先の農家さんには、専門的な技術に加え、そういった作業を自分で考え、続けていく流れを学ばせていただきました。

これから全てを一人でこなしていくことに不安もありますが、3年間の研修を無駄にせず、1つ1つ丁寧に手をかけて作物を作っていきたいです。城里町に移り住んで、研修を受け入れてくださった農家さんをはじめ、協力隊の仲間や大家さん、地域の皆さんの支えがあって、農業を続けられること、大変感謝しています。役場の皆さんにもいろいろなおアドバイスをもらい、就農の後押しをしてもらいました。ありがとうございました。これからも農業を通じて、地域の皆さんに恩返しができるよう、努力していきますので、よろしくお願いたします。

問合せ

農業政策課

☎029-288-3111(内線253)